



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 タカノ株式会社
 コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,674	2.7	120	51.9	154	28.2	87	34.9
29年3月期第1四半期	4,805	52.4	251	189.6	215	191.3	134	174.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 179百万円 (299.6%) 29年3月期第1四半期 45百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.76	
29年3月期第1四半期	8.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	33,837	27,714	81.9	1,823.75
29年3月期	35,169	27,746	78.9	1,825.91

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 27,714百万円 29年3月期 27,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,800	3.4	380	13.9	450	8.8	350	25.2	23.03
通期	22,400	2.3	1,400	27.8	1,500	25.7	1,050	24.2	69.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	15,721,000 株	29年3月期	15,721,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	524,811 株	29年3月期	524,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	15,196,189 株	29年3月期1Q	15,196,227 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国大統領の今後の政策の影響や中東およびアジアを中心とした地政学リスクの高まり、欧州の政治リスクに対する警戒感の高まり等を受け、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の2年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、各施策の確実な実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、新営業分野に関する製品開発・販売活動、グローバル販売体制の拡充に注力する一方、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

しかしながら、住生活関連機器およびエクステリア製品の販売の増加はあったものの、機械・工具の販売が大幅に減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,674百万円で、前年同四半期比130百万円（2.7%）の減収となりました。

利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進に努めたものの、営業利益120百万円（前年同四半期比130百万円、51.9%の減益）、経常利益154百万円（前年同四半期比60百万円、28.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益87百万円（前年同四半期比46百万円、34.9%の減益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	1,814	1,851	2.0%	△59	△23	－%
検査計測機器	1,800	1,773	△1.5%	208	58	△71.9%
産業機器	515	534	3.6%	68	75	9.5%
エクステリア	217	252	15.9%	△3	6	－%
機械・工具	457	263	△42.5%	16	11	△33.7%
報告セグメント計	4,805	4,674	△2.7%	231	128	△44.4%
セグメント間取引消去	－	－	－%	20	△7	－%
合計	4,805	4,674	△2.7%	251	120	△51.9%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、生産性の向上に向けた工場レイアウトの変更およびロボットの導入を行うとともに、製品試験設備の拡充等、製品開発のリードタイムの短縮や品質の向上等に取り組んでまいりました。

その結果、首都圏等における家具需要は全体として堅調に推移したこと等により、売上高は1,851百万円で前第1四半期連結累計期間比37百万円、2.0%の増収となりました。また、利益面では、販売拡大による粗利益額の改善や積極的なコストダウンに努めた結果、セグメント損失は23百万円（前年同四半期はセグメント損失59百万円）と損失幅を縮小することができました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、中国・台湾市場向け液晶検査装置および自動車業界等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、製品の競争力向上を図るべく、高速・高

精細な次世代光学センサーの開発および部材コストの低減を可能とする新検査手法の開発に取り組んでまいりました。

しかしながら、装置販売価格等の低下の影響により、売上高は1,773百万円で前第1四半期連結累計期間比26百万円、1.5%の減収となりました。また、利益面では、設計の標準化等による積極的なコスト削減を推進したものの、販売単価の低下による影響を受け、セグメント利益は58百万円で前年同四半期比149百万円、71.9%の減益となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、国内および海外顧客に向けた積極的な営業提案活動、医療関係分野および半導体向け電磁アクチュエータの販売拡大、新たなコア加工技術開発等に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は534百万円で前第1四半期連結累計期間比18百万円、3.6%の増収となりました。セグメント利益は75百万円で、前第1四半期連結累計期間比6百万円、9.5%の増益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた広告宣伝活動に注力するとともに、物件受注体制の拡充及び新製品の開発等に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は252百万円で前第1四半期連結累計期間比34百万円、15.9%の増収となりました。利益面では、販売の拡大にともなう粗利益額の拡大、積極的な経費削減活動等により、セグメント利益は6百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）と、黒字転換を果たすことができました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。しかしながら、前四半期にあった機械の大口物件受注が当四半期にはなかったこと等により、売上高は263百万円で、前第1四半期連結累計期間比194百万円、42.5%の減収となりました。また、利益面においては、販売の減少による粗利益の減少を受け、セグメント利益は11百万円で、前第1四半期連結累計期間比5百万円、33.7%の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は33,837百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,332百万円減少いたしました。純資産合計は27,714百万円となり、前連結会計年度末と比較して32百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は81.9%と前連結会計年度末と比較し、3ポイント増加いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、現金及び預金が181百万円増加した一方、期末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだこととともない受取手形及び売掛金が2,005百万円減少したこと等により、流動資産合計が1,744百万円減少し、21,950百万円となりました。固定資産合計は、当社伊那工場において製品試験を行うための建物を建設したこと等とともない建物及び構築物が125百万円増加したこと、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金が200百万円増加したこと等により、412百万円増加し、11,887百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、検査計測機器における大口物件の売上高計上等により前受金が482百万円減少したこと、当四半期中の賞与の支給により賞与引当金が241百万円減少したこと等により、負債合計は1,299百万円減少し、6,123百万円となりました。

純資産の部については、株式相場等の回復にともない、その他有価証券評価差額金が95百万円増加した一方、当四半期中の配当金の支払い等により利益剰余金が125百万円減少したこと等により、純資産合計は32百万円減少し、27,714百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、現時点で、平成29年5月9日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,248,914	11,430,821
受取手形及び売掛金	8,209,702	6,204,350
商品及び製品	527,952	679,537
仕掛品	2,338,779	2,276,500
原材料及び貯蔵品	837,821	842,588
その他	531,795	516,563
貸倒引当金	△336	△318
流動資産合計	23,694,629	21,950,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,619,032	2,744,620
機械装置及び運搬具(純額)	607,020	605,754
土地	4,250,044	4,250,044
その他(純額)	692,478	702,348
有形固定資産合計	8,168,575	8,302,766
無形固定資産	261,334	244,863
投資その他の資産		
投資有価証券	2,649,562	2,785,076
その他	401,592	561,146
貸倒引当金	△5,831	△6,048
投資その他の資産合計	3,045,323	3,340,174
固定資産合計	11,475,233	11,887,804
資産合計	35,169,863	33,837,847

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,429	1,373,618
電子記録債務	1,601,904	1,860,233
未払法人税等	255,821	16,212
前受金	1,008,481	525,703
賞与引当金	414,862	173,567
役員賞与引当金	17,604	—
その他	1,328,056	1,143,905
流動負債合計	6,405,160	5,093,241
固定負債		
長期借入金	140,000	130,000
役員退職慰労引当金	10,080	—
退職給付に係る負債	461,288	469,017
その他	406,441	431,562
固定負債合計	1,017,810	1,030,580
負債合計	7,422,970	6,123,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	23,202,275	23,077,058
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	27,301,115	27,175,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,640	477,756
為替換算調整勘定	51,225	47,581
退職給付に係る調整累計額	11,910	12,788
その他の包括利益累計額合計	445,776	538,126
純資産合計	27,746,892	27,714,025
負債純資産合計	35,169,863	33,837,847

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）
売上高	4,805,829	4,674,968
売上原価	3,726,820	3,654,186
売上総利益	1,079,009	1,020,781
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	178,931	185,120
賞与引当金繰入額	40,099	49,593
退職給付費用	13,011	13,379
貸倒引当金繰入額	△3,432	△17
役員退職慰労引当金繰入額	360	60
研究開発費	128,874	202,723
その他	469,986	449,168
販売費及び一般管理費合計	827,830	900,027
営業利益	251,178	120,754
営業外収益		
受取利息	7,875	2,955
受取配当金	15,452	15,278
為替差益	—	830
その他	13,928	16,073
営業外収益合計	37,257	35,137
営業外費用		
支払利息	641	516
固定資産除売却損	68	437
為替差損	72,411	—
その他	14	263
営業外費用合計	73,135	1,217
経常利益	215,300	154,674
税金等調整前四半期純利益	215,300	154,674
法人税、住民税及び事業税	19,210	17,196
法人税等調整額	61,725	49,948
法人税等合計	80,935	67,145
四半期純利益	134,364	87,529
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,364	87,529

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	134,364	87,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,196	95,115
為替換算調整勘定	△20,108	△3,643
退職給付に係る調整額	4,953	878
その他の包括利益合計	△89,350	92,349
四半期包括利益	45,014	179,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,014	179,879
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,814,300	1,800,102	515,880	217,546	457,999	4,805,829
セグメント間の内部売上高又 は振替高	10,582	715	5,912	3,578	69,861	90,649
計	1,824,883	1,800,817	521,792	221,124	527,860	4,896,479
セグメント利益又は損失(△)	△59,664	208,417	68,730	△3,238	16,820	231,065

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	231,065
セグメント間取引消去	20,113
四半期連結損益計算書の営業利益	251,178

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,851,398	1,773,506	534,357	252,154	263,551	4,674,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,038	49,148	14,760	3,294	133,915	215,156
計	1,865,436	1,822,655	549,117	255,449	397,466	4,890,125
セグメント利益又は損失(△)	△23,400	58,553	75,252	6,811	11,156	128,373

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	128,373
セグメント間取引消去	△7,619
四半期連結損益計算書の営業利益	120,754

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。